

平成24年度に建設工事で発生した事故事例（流出による事故）

事故概要：

ダンプトラックにて軽油缶を運搬していたところ、携行缶3本の内1本が倒れ、県道上約800mに10L程度が漏れ、雨と共に飛散し、少量が河川に流出した。

事故原因：

軽油運搬方法として、転倒防止及び密栓をしていなかった

改善対策：

- ・重機燃料はガソリンスタンドより現地へローリーで配達する
- ・資材運搬方法について安全教育の徹底



事故発生運搬時の再現



路上砂散布、清掃状況



河川へのオイルフェンス実施状況



河川内吸着マット設置

分類：資材、運搬

被害状況：軽油が路面に飛散し6.5時間の交通規制と接触事故。河川にも流出したが被害はなし

平成25年度に建設工事で発生した事故事例（交通事故）

事故概要:

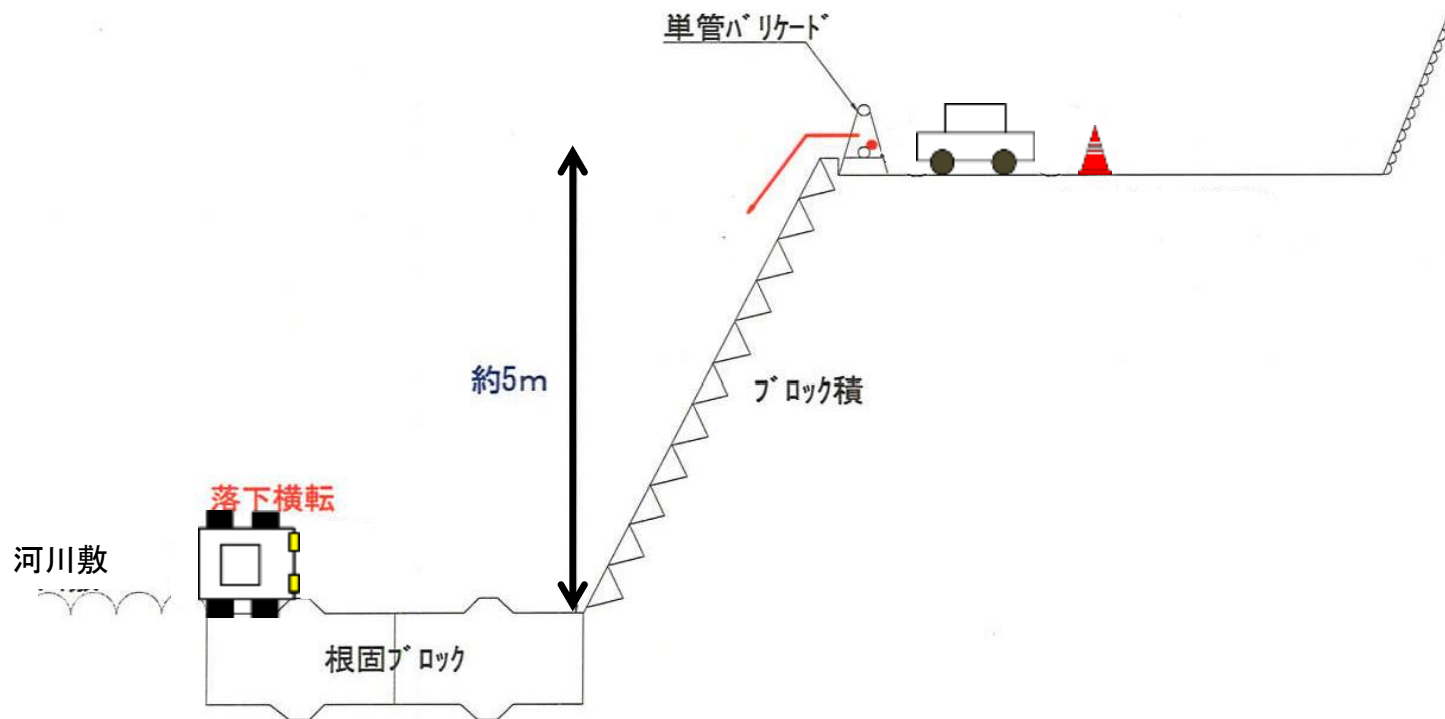
溶接機を車両にて隣接現場に運搬したのち、現場へ戻るために転回しようと、川側へ車の前方を向けて切り返すため、ブレーキを踏んだところブレーキペダルを踏み外し、車がそのまま前進し続けて設置してあった単管バリケードごと約5m下の河川に転落した。

事故原因:

- ・現場内で安易に車両を転回しようとした

改善対策:

- ・搬入・搬出経路や転回場を明確化する
- ・作業員への安全指導の徹底



分類: 資材、運搬

被害状況: (外傷性頸部症候群、脳震盪)

平成26年度に建設工事で発生した事故事例（交通事故）

事故概要:

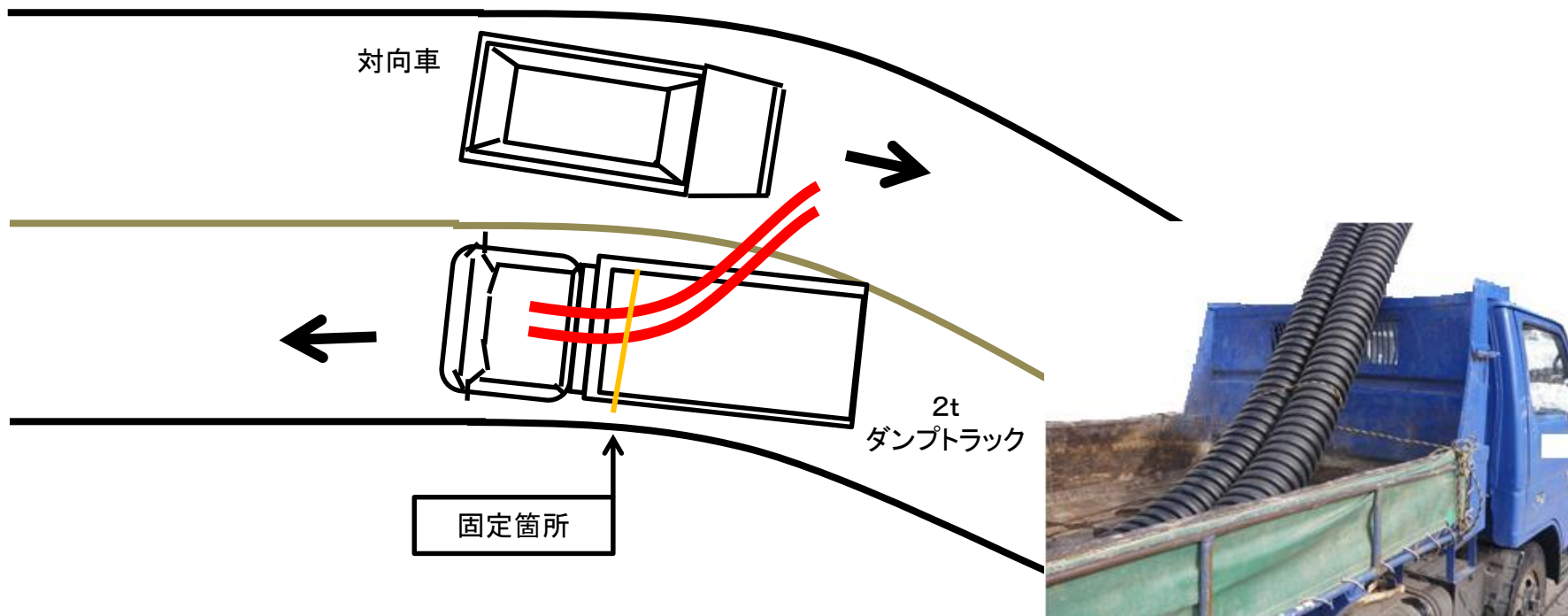
資材置き場から工事現場へポリエチレン管(φ150 L=5.0m 2本)を2tダンプに積載して運搬中、横断溝を通過した際に上下に弾み、その衝撃で管が跳ね上がり荷台の外へはみ出した。運転手はそれに気づかず走行したため、対向車線を走行していた一般車両に接触し損傷させた

事故原因:

- ・管をロープで1点固定すれば脱落しないと思い込んだ
- ・車両が弾んだ際に、積荷の状況を目視確認しなかった

改善対策:

- ・安全教育の徹底



分類: 資材、運搬

被害状況: 一般車両前面を損傷

平成26年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材による事故）

事故概要：

後片付けにおいて余った仮設材のH鋼を既に置いてあったH鋼の上に重ねようとしたところ、その間に左手の指を挟んでしまい負傷した

事故原因：

・作業を早く終わらせようと焦っていたための不注意

改善対策：

・安全教育の徹底



分類：資材、運搬

被害状況：1週間（左中指末節骨骨折・爪下血腫）

平成26年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材による事故）

事故概要:

索道ウインチの台座を3人で設置していた際、被災者が台座部材(L=2.4m、φ0.15×0.24m、重さ約25kg)の一方を持ち上げ、地面を引きずるように移動させていたところ、手が滑り、左足甲内側に落として負傷した

事故原因:

- ・本人の不注意

改善対策:

- ・安全教育の徹底
- ・足の甲をガードしたタイプの靴や運搬にはスリングロープを使用する



分類: 資材、運搬

被害状況: 1週間の安静加療(左足打撲)

平成27年度に建設工事で発生した事故事例（架空線損傷事故）

事故概要:

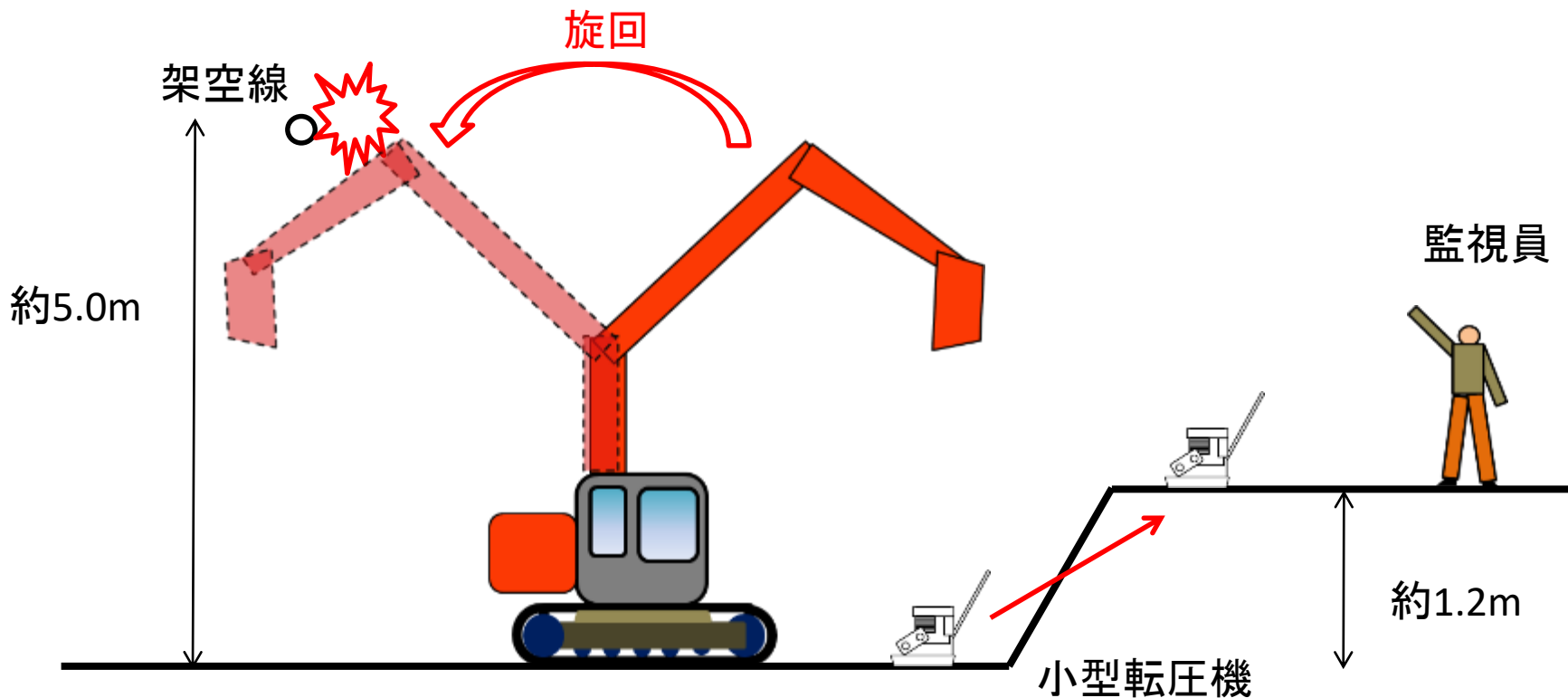
小型転圧機(60kg)をバックホウのバケット内に入れて1.2m上方の作業場所へ持ち上げて降ろした後、バックホウを旋回した際に架空線に接触し切断させた

事故原因:

- ・監視員が作業終了まで確実に誘導しなかった
- ・防護管、目印設置の安全対策が不十分

改善対策:

- ・監視員は旗、笛により最後まで確実に合図を送る
- ・防護管、目印を設置



分類: 資材、運搬

被害状況: 電話が2時間不通

平成27年度に建設工事で発生した事件事例（挟み込みによる事故）

事故概要:

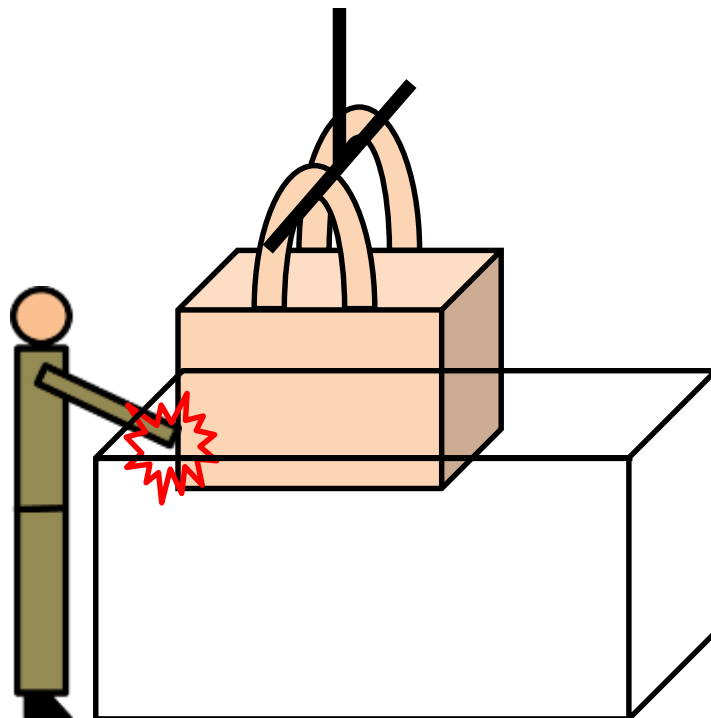
アンカー工のセメントミルク廃材処理作業において、大型土のう袋を搬出しようとして60トンクレーンで吊り上げていた際に水槽内部壁面と大型土のう袋が競り合ったため、玉掛け後に荷から離れていた作業員がやむを得ず近づいて大型土のう袋を揺すったところ、徐々に抜け始め、最後に抜けた瞬間に大型土のう袋と水槽が跳ね上がり、作業員が水槽に手を掛けたところに大型土のう袋が反動により下がったため、指を挟まれ負傷した

事故原因:

・本人の不注意

改善対策:

・安全教育の徹底



分類: 資材、運搬

被害状況: 3か月間の加療(右小指切断、右小指挫滅創)

平成27年度に建設工事で発生した事故事例（交通事故）

事故概要:

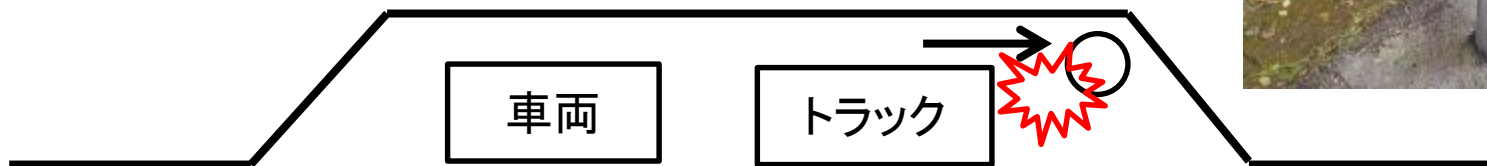
作業員がトラックに資材を乗せ、現場から会社へ帰る際に現場下方にある県道の退避場に車を止めて明日の予定について打ち合わせ後、車を出そうとした際に前に車があったためバックさせたところ、県道の街灯に荷台が接触し街灯支柱を破損させた

事故原因:

・本人の不注意

改善対策:

・安全教育の徹底



分類: 資材、運搬

被害状況: 街灯1本破損

平成27年度に建設工事で発生した事故事例（交通事故）

事故概要:

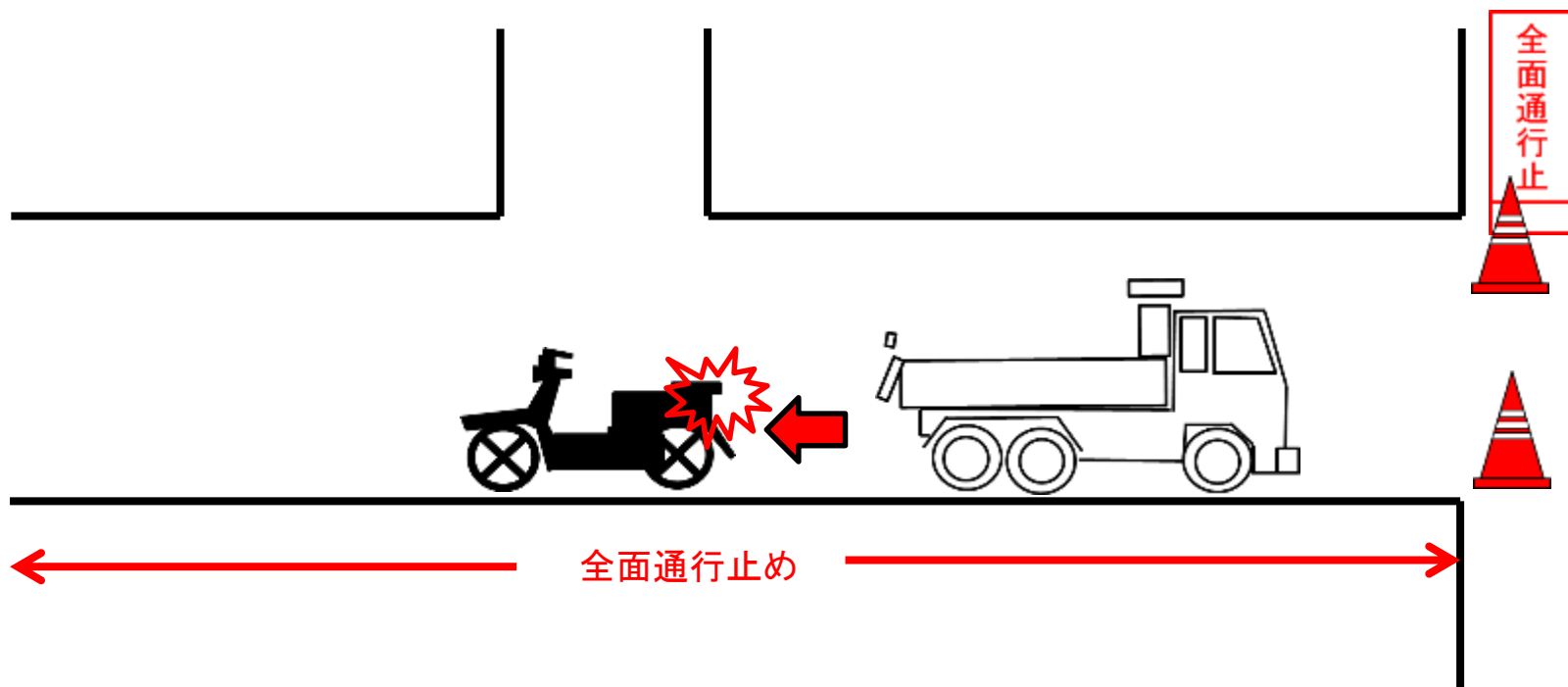
コンクリート殻を処分場へ運搬するためダンプトラックを現場内にバックで進入させようとしていた際、道路上に駐車していたバイクに気づかず、接触し破損させた

事故原因:

・全面通行止規制(看板、カラーコーン)していたが、交通誘導員を配置していなかった

改善対策:

・交通誘導員を配置する



分類: 資材、運搬

被害状況: バイクの部品を破損

平成27年度に建設工事で発生した事故事例（転倒による事故）

事故概要:

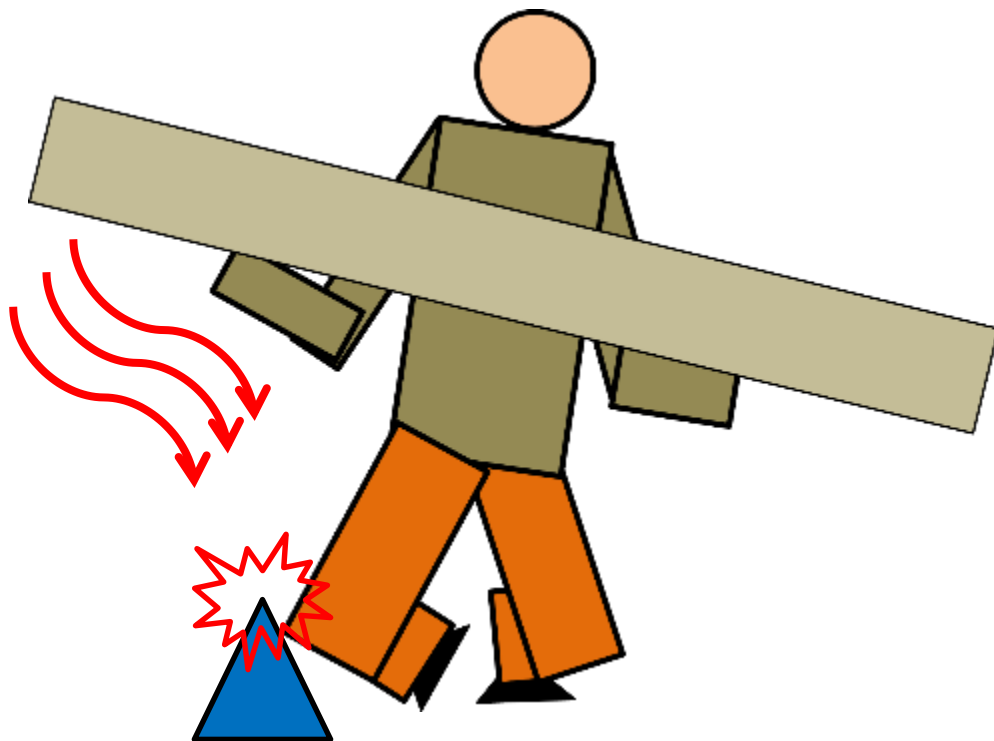
作業員が作業後の片付けにおいて脚立足場の道板2枚を同時に運ぶ際に、通常の運搬経路を通らず自己の判断で経路を変更し運搬していたところ、バランスを崩して膝から転倒し、転倒先に軽量鉄骨下地材の端材があり右膝を負傷した

事故原因:

・本人の不注意

改善対策:

・安全教育の徹底



分類: 資材、運搬

被害状況: 1週間の加療(右膝切創)

平成29年度に建設工事で発生した事故事例（飛来物・落下物による事故）

【事故概要】

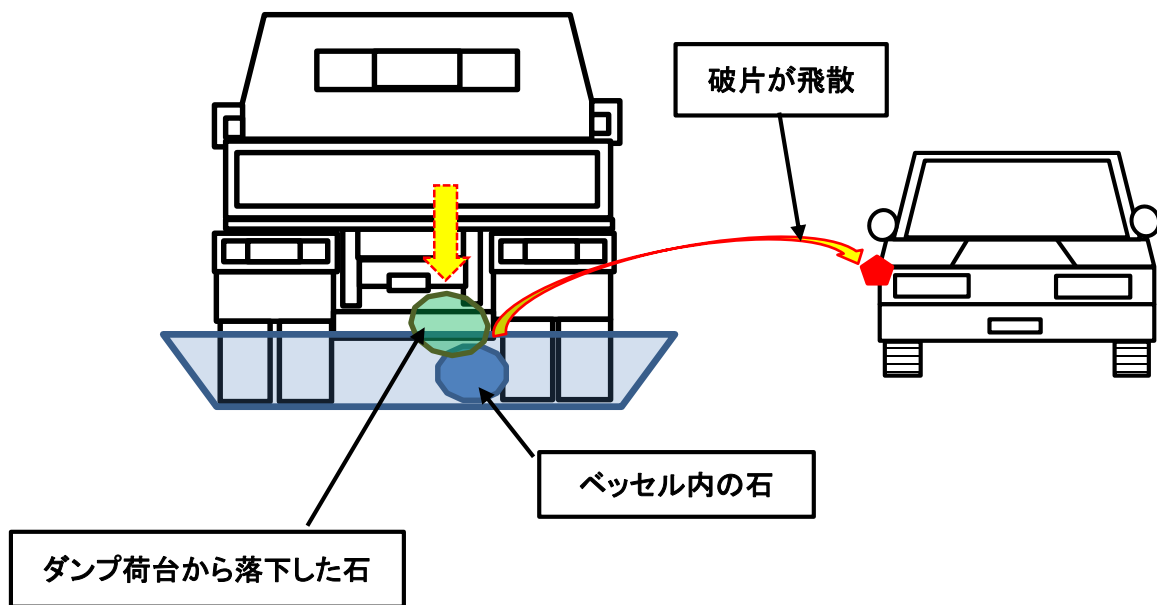
スノーシェッド山側下部工の背面盛土用の土砂をダンプからベッセル(運搬用バケツ)に移し替える際、ベッセル内の石とダンプ荷台から落下した石が当たり、欠けた破片が通行車両に当たり損傷させた。

【事故原因】

- ・ダンプからベッセルに土砂を移し替える際、一般車両の通行止めを行わなかった
- ・防護ネット等の飛散防止対策を怠った

【改善対策】

- ・ベッセル吊り込み時等に加え、土砂移し替え時も、一般車両の通行止めを行う
- ・飛散防止対策として防護ネットを配置する



[改善対策後]



【分類】 資材、運搬

【被害状況】 通行車両1台損傷

平成29年度に建設工事で発生した事故事例（交通事故）

【事故概要】

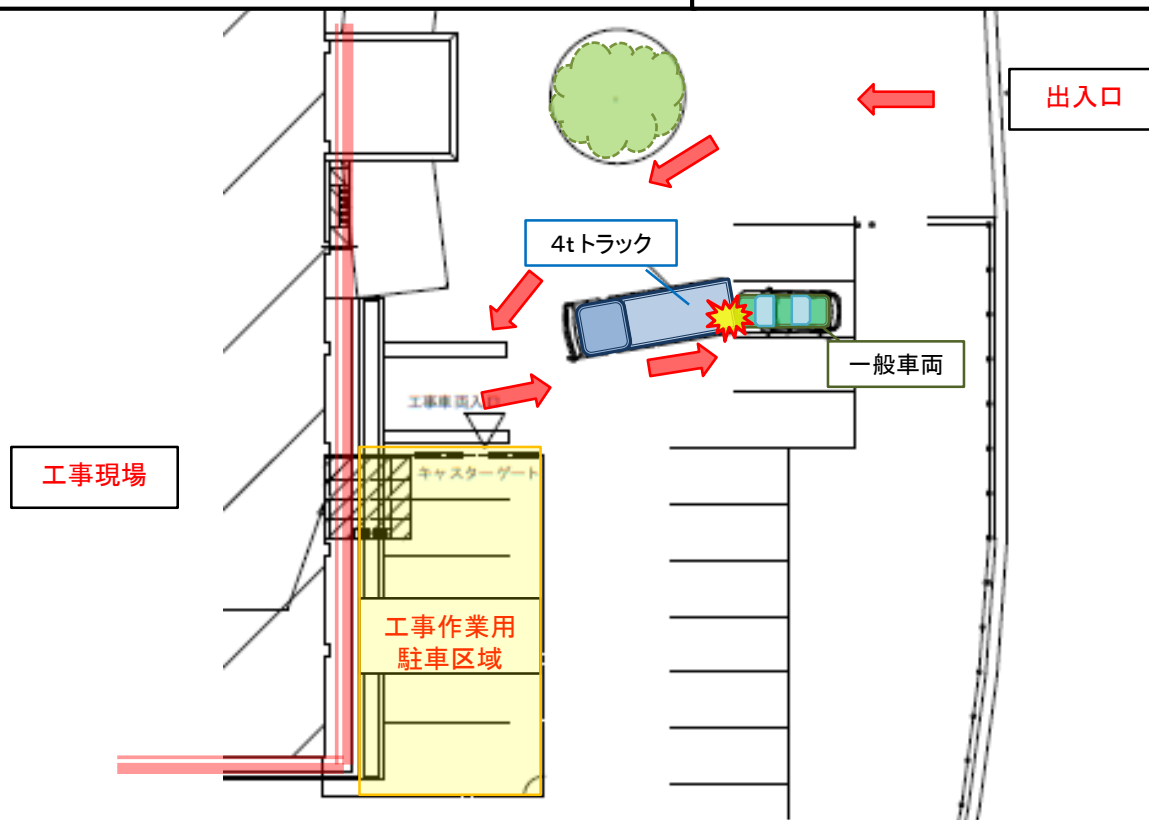
4tトラックで資材を搬入しようと、現場出入り口前で切り返してバックした際、構内駐車場内に停車してあった一般車両に接触し損傷させた。

【事故原因】

・工事車両通行時、駐車場内に交通整理員が配置されていなかった

【改善対策】

・資材及び重機等の搬出入時等、工事車両通行時には交通整理員を配置する
・工事作業用駐車区域以外には、工事関係車両を駐車しない



【分類】 資材、運搬

【被害状況】 一般車両1台損傷

平成30年度に建設工事で発生した事故事例（落下物による事故）

【事故概要】

足場設置作業中に三角コーンで囲った作業範囲内に学校関係者が入り、資材運搬用トラックの横を通り抜ける際、資材（仮囲い用フラットパネル）がトラックの荷台から荷崩れを起こし、隣接して駐車してあったトラックの前輪と資材に右足を挟まれ負傷した。

【事故原因】

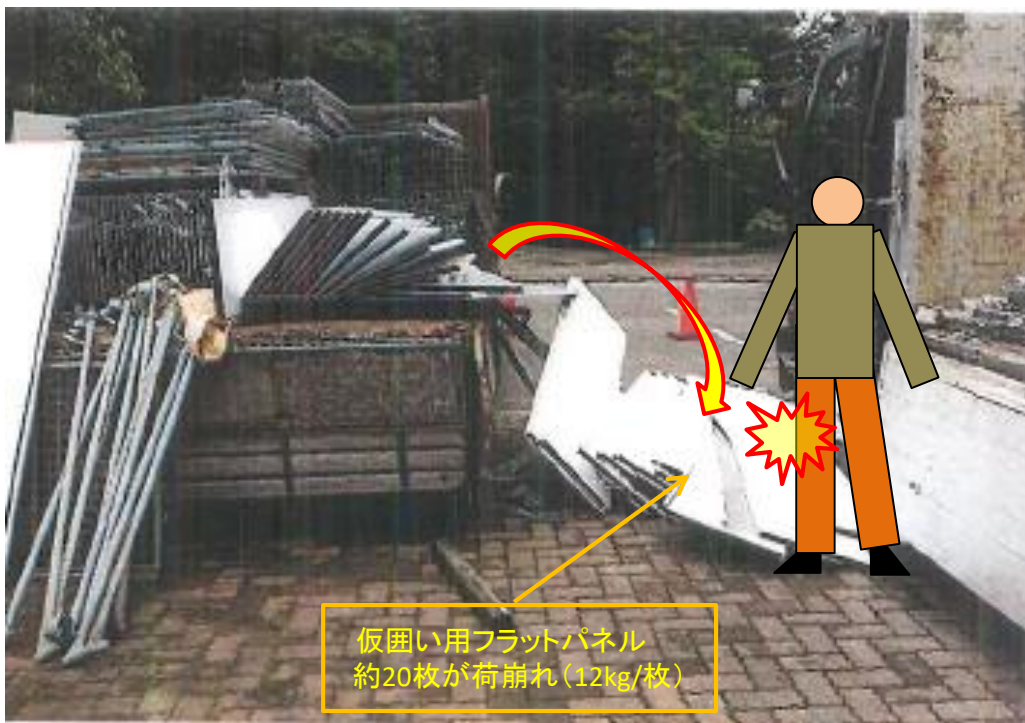
- ・作業エリアは区画されていたが看板等の設置がなく、注意喚起が不足していた
- ・足場設置作業における具体的な注意事項について学校への説明が不足していたため、学校関係者への周知が徹底されていなかった
- ・トラック荷台上の資材には荷崩れ防止金具が設置されていたが、水に濡れて金具が滑ることを想定していなかった

【改善対策】

- ・作業エリアを確実に区画するとともに、啓蒙看板等を設置し第三者への周知を行う
- ・作業日前日に、学校関係者に作業内容と注意事項を詳細に説明し、工事エリア内への立入禁止の周知を徹底する
- ・資材運搬車両の移動時及び荷卸し時には、誘導員を配置し監視する
- ・荷崩れ防止対策を資材の種類に応じて確実に実施し、元請け業者が確認した上で作業を行う



反対方向から望む



仮囲い用フラットパネル
約20枚が荷崩れ(12kg/枚)

【分類】 資材、運搬

【被害状況】 右下腿打撲症（局所の安静・通院加療 約4週間）